

平成18年10月13日

各 位

会社名 株式会社レナウン
代表者 代表取締役社長 岡 康久
(コード番号 3606 東証第一部)
問合せ先 経営企画室広報担当部長
伊東 甲二
(TEL: 03-5496-8485)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成18年4月14日の決算発表時に公表いたしました平成19年2月期中間及び通期の業績予想を下記のとおり修正いたします。

記

1. 19年2月期中間業績予想数値の修正 (平成18年3月1日～平成18年8月31日)

(連結)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	83,500	△1,600	△3,000
今回修正予想(B)	82,600	△960	△3,450
増減額(B-A)	△900	640	△450
増減率	△1.1%	—	—

(単体)

(単位: 百万円)

	売上高	経常利益	中間純利益
前回発表予想(A)	41,800	△2,200	△2,600
今回修正予想(B)	42,100	△970	△1,260
増減額(B-A)	300	1,230	1,340
増減率	0.7%	—	—

2. 19年2月期業績予想数値の修正（平成18年3月1日～平成19年2月28日）

（連結）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	182,000	2,300	500
今回修正予想（B）	180,000	700	△2,400
増減額（B-A）	△2,000	△1,600	△2,900
増減率	△1.1%	△69.6%	△580.0%

（単体）

（単位：百万円）

	売上高	経常利益	当期純利益
前回発表予想（A）	95,000	800	300
今回修正予想（B）	93,800	1,100	300
増減額（B-A）	△1,200	300	0
増減率	△1.3%	37.5%	—

3. 修正の理由

中間期の業績予想に関し、単体については、売上高、経常利益、中間純利益ともに当初予定を上回る見込みであります。一方、連結については、経常利益が予定を上回るものの、中間純利益は当初予定を下回る見込みであります。これは、国内子会社における法人税等が約8億円増加したことによるものであります。

なお、当中間期において、保有不動産の減損により約13億円の特別損失を計上する見込みであります。

通期の業績予想に関し、単体については、メンズの売上が堅調に推移するものの、レディースについては予定を若干下回る見込であることから、売上は期初予定を下回る見込みであります。一方、関係会社からの受取配当金等の増加により経常利益は予定を上回る見込みであります。連結については、海外子会社であるアクアスキュータム社において積極的な成長投資に伴う販売管理費の増加により減益幅が14億円ほど拡大する見込みであるほか、国内子会社における法人税等が約10億円増加したことも影響し、経常利益と当期純利益は予定を下回る見込みであります。

以上から、当社の中間業績予想及び通期業績予想を標記のとおり修正いたします。

以 上